

(学校番号 237) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【宮前中学校】

4月28日		
目標・策		
知識・技能	令和4年度全国学力・学習状況調査及び令和元年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、数学の「知識・技能」において向上させる。	⇒
思考・判断・表現	令和4年度全国学力・学習状況調査及び令和元年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、数学の「思考・判断・表現」において向上させる。	⇒
主体的に学習に取り組む態度	・学校評価アンケートにおいて、「学校に来るのが楽しい」「学習に積極的に取り組んでいる」の肯定的な回答の割合を90%以上にする。	⇒
		⇒
	スタディサプリや小テスト、ドリルパーク等を活用し、基本的な計算等の反復・習熟を行う。その際、生徒の学習履歴を確認して、質問教室や授業の復習に反映していく。	
	「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」における「協働」を重点とした学習活動を行う。また、レポートや説明問題に取り組む際、口頭や文章によるコメントを付記して評価する。	
	宮前中学校授業五訓を活用し、授業規律の徹底を行う。ICTを効果的に活用し、「よい授業」の4つの因子に基づいた授業展開を行う。	

9月2日		
中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
知識・技能	変更なし	⇒
思考・判断・表現	変更なし	⇒
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒

8月26日	
全国学力・学習状況調査結果・分析	
<p>国語： 6項目で全国平均正答率を上回る結果となった。特に「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」で最も高く上回る結果となり、本校で実践してきた他者と深め合う、協働する生徒の育成が成果となって数値上に表れたといえる。「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」に課題があり、授業内で書くことを意識した内容を充実させていく。</p> <p>数学： 5項目で全国平均正答率を上回る結果となった。特に「学習指導要領の内容」である「データの活用」で最も高く上回る結果となり、ICTを活用して授業を展開した成果が数値上に表れたといえる。「学習指導要領の内容」である「数と式」に課題があり、スタディサプリ、ドリルパーク、formsを用いた小テスト等を活用して基本的な計算等の反復・習熟を行う。</p> <p>理科： 全項目で全国平均正答率を上回る結果となった。特に「評価の観点」である「知識・技能」で最も高く上回る結果となり、ICTを活用した授業やグループ学習の成果が数値上に表れたといえる。「評価の観点」である「思考・判断・表現」に若干の課題があり、現在取り組んでいる内容をさらに充実させて諦めずに挑戦し続ける生徒の育成に努めていく。</p>	

2月〇〇日	
さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

2月〇〇日	
成果指標に対する達成状況	評価(※)
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

3月〇〇日	
次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価
 A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
 B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)